



若者の雇用改革と生活応援を

前都議会議員(中野区)

うえき・こうじ

植木 こうじ 日本共産党

「若者への投資」で未来開こう

共産党・東京都委員会が提言



▲「若者雇用提言」を発表する吉良よし子参院東京選挙区予定候補（前列中央）、清水ひで子都議（同左）ら＝東京都庁内

日本共産党東京都委員会が4月22日、雇用と就活対策室の提言『若者への投資』で、東京から日本の未来をひらきましょう』を発表しました。

この提言は、民青同盟の青年らとともに取り組んだ「若者・学生・子育て世代実態調査」(2012年5～9月)に寄せられた1300人以上の声や、有識者との意見交換をふまえて作成したものです。いま東京の若者が、雇用や生活の問題で、いかに理不尽で深刻な実態におかれているか、私も実感します。

日本の未来がかかった問題として、その改善に全力をあげます。

調査に寄せられた若者・学生の実態

■20代、派遣——「2年で正社員になれる」と約束されていたが、手取りは月12万円未満で、残業代も払われず、休日出勤もただ働きを強制されるなどで結局退職を余儀なくされた。

■20代、大学生——学費が高く2種類の奨学金を受けてなんとか授業料の半分がまかなえる。学費を無償にしてほしい。

■20代、正社員——上司がすごく厳しく「お前なんか役に立たない」と罵倒される。女子は全員泣いている。3年で新入社員の4割が辞める。

■30代、失業中——再就職しても家賃、食費、光熱費、税金、年金、保険料などでほぼ全ての金がなくなるであろう今後の生活……。生きる意味が分からない。

- 提言 1 東京から賃上げを！
最低賃金を1000円以上に
- 提言 2 「ブラック企業ゼロ」！
若者が使い捨てにされる働かされ方をなくす
- 提言 3 雇用をふやし、進学・就職・転職の応援を！
- 提言 4 家賃補助や国保料引き下げなど生活を応援！



← 提言全文掲載のパンフができました (一冊 100円)。

私自身も、若者の実態を調べ、雇用現場の改革から生活の応援まで、企業、政府、自治体が協力して若者に投資し、応援してこそ、今後の日本が発展する道が開けると確信しました。提言の実現へ全力でがんばります。



参議院東京選挙区予定候補
きら・よしこ

吉良よし子

提言全文は吉良よし子 HP (<http://kirayoshiko.com/>) からも見られます。



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2013年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」をぜひお読みください